



認

あつけし・あんしん認知症月間

知症について理解を深める

9月19日から21日までの3日間、『あつけし・あんしん認知症月間』と題して、認知症に関するさまざまなイベントなどが行われました。

期間中は、認知症の母を持つ親子の『ドキュメンタリー映画上映会』やVR機器を通じて当事者の視点から認知症を体験する『VR認知症体験会』、ゆったり過ごせる『認知症カフェ』などのイベントが開催され、参加者は認知症についての理解を深めました。

炭

きのこの森づくりと炭づくり体験会
づくりに挑戦！

9月28日、森林センターで『きのこの森づくりと炭づくり体験会』が開催され、炭作りやジャガイモの収穫を行いました。

はじめに、移動式炭化炉による炭づくりを体験。ミズナラの木をみんなで詰め込んで、点火まで行いました。

5月にシイタケの駒菌を植えたミズナラのほだ木の本伏せ作業を行った後、園内にある畑でジャガイモを収穫。晴天のもと参加者は、秋ならではの行事を楽しみました。



ク

環境講演会

マと正しく向き合うには

10月5日、厚岸情報館で『環境講演会』が開催され、50人が参加しました。

当日は、酪農学園大学の佐藤喜和教授を講師に招き、農地や市街地に出没するクマの生態や行動、クマと地域社会の関わり方などについて解説を受けました。

参加者は、厚岸町や標茶町におけるクマの出没範囲や、農地や市街地に下りてきたクマによる被害の懸念点などの説明を受け、クマに対する理解を深めました。



手

ミニチュア土器づくり教室

のひらサイズの縄文土器

10月12日、真龍小学校で『ミニチュア土器づくり教室』が公益財団法人北海道埋蔵文化財センターと海事記念館の共催で開催され、21人が参加しました。

当日は、郷土の歴史や遺跡についての知識を深めるため、縄文時代の生活道具である縄文土器のミニチュアを実際に作りました。

参加者は、棒状に伸ばした複数の粘土を積み重ね、手のひらサイズの個性豊かなミニチュア土器を完成させていました。

